

製品名: CD248 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08307**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	CD248
別名	CD248; CD164L1; TEM1; Endosialin; Tumor endothelial marker 1; CD248
遺伝子 ID	57124.0
SwissProt ID	Q9HCU0
免疫原	抗血清はヒト CD248 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 341-390

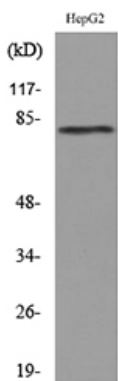
背景

機能:腫瘍の血管新生に役割を果たす可能性があります。 ,オンライン情報:エンドシアリン,PTM:N-グリコシル化されている可能性があ

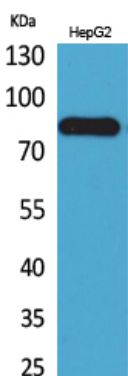
ります。、PTM:シアリル化オリゴ糖でO-グリコシル化されています。、類似性:1つのC型レクチンドメインを含みます。、類似性:1つのEGF様ドメインを含みます。、類似性:1つのSushi (CCP/SCR) ドメインを含みます。、組織特異性:腫瘍の血管内皮細胞で発現しますが、正常な血管内皮細胞では存在しないか、ほとんど検出されません。肝臓の転移病変および黄体形成と創傷治癒の血管新生中に発現します。悪性腫瘍の血管内皮細胞で発現しますが、正常な血管では発現しません。間質線維芽細胞に発現する。、機能: 腫瘍の血管新生に関与する可能性がある。、オンライン情報: エンドシアリン、PTM: N-グリコシル化されている可能性がある。、PTM: シアリル化オリゴ糖でO-グリコシル化されている。、類似性: C型レクチンドメインを1つ含む。、類似性: EGF様ドメインを1つ含む。、類似性: Sushi (CCP/SCR) ドメインを1つ含む。、組織特異性: 腫瘍の血管内皮細胞に発現するが、正常な血管内皮細胞には発現しないか、ほとんど検出されない。肝臓の転移病変、および黄体形成と創傷治癒の血管新生中に発現する。悪性腫瘍の血管内皮細胞に発現するが、正常血管には発現しない。間質線維芽細胞に発現する。、

研究分野

画像データ



CD248 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解液のウェスタンブロット分析。



CD248 ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。